

### 食の安全・安心の取組みを「強み」に 今牧場が「農場HACCP」の認証を取得

1月24日、深山の今牧場（今周作代表）が、公益社団法人中央畜産会から、「農場HACCP」の認証を受けました。酪農分野（乳用牛）では、東北で3番目の取得となります。

「農場HACCP」とは、畜産農場における原料の入荷から製造・出荷までの全工程で、危害を防止するための管理ポイントを設定し、継続的に監視・記録を行うことで、不良製品の出

荷を未然に防ぐ衛生管理向上のための手法です。

また、今牧場では、搾乳ロボットや自動給餌機の導入など、先進的な事例に積極的に取り組んでいるほか、各種フォーラムなどに試作チーズを出展し、商品化を目指しています。今代表は、「今後はこの認証を強みに生かし、6次産業化の取組みであるチーズの商品化を実現させたい」と力強く語りました。



観音寺観音堂の前で放水作業にあたる参加者

### 地域の宝を地域で守る—— 文化財防火デーに合わせ消防訓練

文化財防火デー（1月26日）に合わせ、国指定文化財の観音寺観音堂で観音堂自衛消防隊総合訓練、県指定文化財の鮎貝八幡宮で防火祈願祭が行われました。1月27日に行われた観音堂自衛消防隊総合訓練には、同消防隊や消防白鷹分

署などから約30人が参加。119番への通報から放水まで迅速に行われ、万一の備えを確認しました。文化財防火デーは、昭和24年1月26日に法隆寺の金堂が炎上し、壁画が焼損したことに基つき、昭和30年に制定されました。



認証書を手にする今代表

### 町芸術文化のさらなる振興に向けて—— 白鷹町芸術文化協会「新春のつどい」

1月20日、パレス松風を会場に白鷹町芸術文化協会（伊藤久志会長）の新春のつどいが開かれました。

この日は、同協会の会員など約110人が出席。平成30年度の事業経過報告後



左から吉村さん、荒川さん、岩崎さん、大貫さん、若柳さん

に、芸術文化の振興に寄与された6人に表彰が行われました。受賞者を代表し、大貫静子さんが「時代を重ねても活動できることをうれしく思う。これからも多くの人に茶の湯文化に親しんでほしい」と謝辞。その後、白鷹民踊愛好会による祝舞が披露され、続く交流会では、会員同士が今後の活動や新年の抱負などを語りながら親交を深めました。

#### ■白鷹町芸術文化協会表彰受賞者

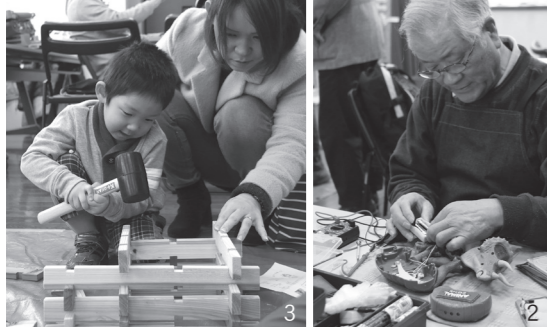
賞	氏名	加入団体名
芸術文化賞	大貫 静子さん	江戸千家荒砥会
	若柳 雪成さん	白鷹若柳会
	横山 知子さん	白鷹吟友会
奨励賞	岩崎 武雄さん	白鷹まんさく会
	荒川 民子さん	白鷹民踊愛好会
感謝状	吉村みよ子さん	白鷹民踊愛好会

### 環境への意識を共有しよう！ しらたか環境フェアを初開催

白鷹町美しい郷づくり推進会議（熊坂勝則会長）の主催による「しらたか環境フェア」が1月26日、あゆむで開催されました。

環境への意識付けや、より良い環境をつくるためのきっかけづくり、環境保全のための情報発信の機会として企画された当イベント。当日は、ごみの減量や町産木材の活用など、町内外で環境保全に関する活動に取り組む個人・団体が集ま

り、ワークショップや展示、エコ製品の販売、映画上映などが行われました。見て聞いて・触れて、環境への意識を共有し合った参加者。今年度が初開催となった当イベントは、今後も継続して行われる予定です。



1\_風呂敷のさまざまな活用法を学ぶワークショップ  
2\_壊れたおもちゃを直すおもちゃ病院  
3\_木工スペースにおいて、木を組み合わせてイスを作る参加者

### ピカピカのランドセルに心ワクワク 新入学児童へランドセルを贈呈

町内4小学校の新入学児童へのランドセル贈呈事業が1月23日と2月1日、各小学校で行われました。

町内在住の児童の新入学を祝うとともに、保護者の経済的負担を軽減することを目的とした当事業。ランドセルは、町内のかばん製造業（梅らんど）の山形（今野義雄社長）で製造されたもので、3年目となる今年

度は、対象者113人のうち申請のあった109人に贈呈されました。贈呈式において、佐藤町長から「春から元気に登校してください」とランドセルを手渡された新入学児童たち。4月から東根小学校に通う小形颯真くんは「紺色のランドセルをもらえてうれしい。小学校では勉強がんばりたい」と目を輝かせました。



「ありがとうございます」と、佐藤町長からランドセルを受け取る新入学児童

### 弁当作りで「生きる力」と「感謝の心」を育む 東根小学校と蚕桑小学校で「弁当の日」

弁当の日は、子どもが自分で弁当を作って登校するという取組みで、町内では東根小学校と蚕桑小学校において、PTA母親委員会の活動の一つとして毎年実施されています。

町の栄養士による事前実習を経て、献立作りから食材の調達、調理、片付けまでを自らの力で行った児

童たち。毎日食事を作ってくれる家族や、食材生産者への感謝の気持ちがかもった弁当を見せ合い、手作りの味をかみしめました。

